

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
 管理医療機器 エアロゾル注入チューブ 32202000
 （機械器具 06 呼吸補助器 管理医療機器 単回使用人工呼吸器呼吸回路 37706000）
 （機械器具 05 麻酔器並びに麻酔器用呼吸囊及びガス吸収かん 管理医療機器 単回使用麻酔用呼吸回路 37704000）

メラ蛇管

再使用禁止

【警告】

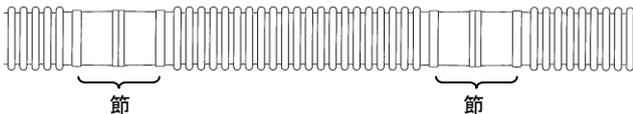
- 使用前に接続に誤りがないこと、接続部が確実に接続されていること、無理な力が加わっていないこと、閉塞やガス漏れ等が生じていないことを確認すること。[閉塞やリークにより、呼吸に障害が生じる可能性がある。]
- 気管チューブ、気管切開チューブと接続する場合は必ず呼気の排出口を確保すること。[呼気が排出できず、肺もしくは気道を損傷するおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

- 併用医療機器
 - ネブライザー又は加温加湿器に接続して使用するとき、人工鼻を併用しないこと。[加温加湿器を併用した場合、人工鼻のフィルタが閉塞し、換気が困難となるおそれがあるため。]
- 使用方法
 - 再使用禁止。[機能の低下や交差汚染の恐れがあるため。]
 - 本品を使用目的以外の用途に使用しないこと。[正常に機能しない恐れがあるため。]
 - 滅菌禁止。[変形による機能の低下などの恐れがあるため。]
 - 火気のある場所および発火の恐れのある場所では使用しないこと。[火災発生の恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状又は構造



全長：30m、節の間隔：約15cm

2. 作動・動作原理

ネブライザー等のエアロゾル発生器と酸素マスク等の器具を接続することで患者にエアロゾルを供給する。または、機器側を人工呼吸器もしくは麻酔器に接続することで機器と患者間に流れるガスの経路となる。

【使用目的、効能又は効果】

酸素マスク、気管チューブ、加湿器、ネブライザーと接続してエアロゾルを注入するために使用する。または、人工呼吸器もしくは麻酔器から患者への空気もしくは酸素を含むガスの送込に用いる。

【品目仕様等】

長さ1mごとの定格流量：毎分100L \leq 0.1 kPa/m

【操作方法又は使用方法等】

使用方法

- 包装から本品を取り出し、必要な長さを取って節の中央部分で切断する。
- 酸素マスクや気管チューブ等の器具と加湿器やネブライザー等のエアロゾル発生器に接続して、エアロゾルを注入するために使用する。または、酸素マスクや気管チューブ等の器具と人工呼吸器もしくは麻酔器に接続して、患者への空気もしくは酸素を含むガスの送込に用いる。

使用方法に関連する使用上の注意

- 使用前に製品を確認し、破損・汚染がある場合は使用しないこと。
- 接続部の漏れや閉塞がないことを確認すること。
- 気管チューブ、気管切開チューブと接続する場合は T 型コネクタ等を使用して、必ず患者の呼気が排出できるようにすること。
- 加湿器やネブライザー等のエアロゾルを発生する装置に接続して使用する場合は、ウォータートラップ等を用いて蛇管内に結露した水が貯留しないようにすること [回路の閉塞や細菌感染を防ぐため。]
- 患者または接続した医療機器の移動に伴って、呼吸管の接続外れや閉塞、ねじれが生じる場合があるので注意すること。
- 本品は加温加湿器を併用する場合、最高稼働温度が60℃以上のガスを呼吸管に流さないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 本品は使用目的以外の用途に使用しないこと。
- 医師の指示の下で使用すること。
- 本品は未滅菌の単回使用製品なので、再使用しないこと。
- 取り扱いに熟練した者以外は本品を使用しないこと。
- 蛇管内に水が貯留しないようにすること。
- 併用する（特に接続する）医療機器の添付文書等は、必ず読み安全確認を行ってから使用すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

水漏れ、ほこり、高温（50℃以上）、多湿、直射日光にあたる場所、振動の激しい場所、凍結する場所などは避けること。

2. 有効期間・使用の期限

ラベルに記載されている製造年月から3年。[自己認証（当社データ）による。]

【包装】

型 式	包 装
3015M	1巻/1袋、1袋/1箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

泉工医科工業株式会社
 埼玉県春日部市浜川戸2-11-1

製造業者

メラセンコー コーポレーション
 (MERASENKO CORPORATION)
 国名：フィリピン

お問合せ先

泉工医科工業株式会社 商品企画
 TEL 03-3812-3254 FAX 03-3812-4613